



令和4年度  
第3号



# 府中明郷学園だより



令和4年5月24日  
府中市立府中明郷学園  
文責 教頭 青山・住田



学校教育目標 **自主・協働・創造** ～社会に開かれた教育課程の推進により、自ら課題を見つけ、学び、行動する児童生徒の育成～

- **自己を認識する力**
- **自分の人生を選択する力**
- **表現する力**

広島県では、公立高等学校入学者選抜制度が変わります。今までの5教科(国語、社会、数学、理科及び外国語(英語))の一般学力検査、学校独自検査調査書に加え、新たに「自己表現」が加わります。

「自己表現」では、15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が身に付いているかどうかをみます。学力検査の後に「自己表現カード」を作成し、それを活用し、「自己表現」(5分以内)をします。その後、質問があり、それに回答します。「自己表現」は、原則、受検者本人が一人で時間内に準備し、実施できるものとなっています。自分の得意なことやこれまでの取組みが伝わるよう、工夫しなければなりません。

「学校独自の検査」とは、面接、作文、小論文及び実技検査や、学校が作成した問題による学力検査です。これは各高等学校が決めますが、必ずどの学校も実施するものではありません。今後、受検する高等学校の情報収集が欠かせません。

本校は、義務教育学校でコミュニティ・スクールです。今後も、その仕組みを十分に生かし、児童生徒に生きて働く資質能力を教育活動全体で育てていきます。今後も、保護者、地域、企業の皆様、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



令和5年度入学者選抜について

## 6月の予定

- 1日(水) 安全点検 内科検診(後期)
- 2日(木) 耳鼻科検診(後期) 4年生授業研究⑤
- 3日(金) SC来校 前期新体力テスト②③  
後期プール清掃②7年生③8年生④9年生
- 4日(土) 福山地区総体
- 5日(日) 福山地区総体
- 6日(月) 明郷タイム 9年生第2回セミナーテスト①～⑤
- 7日(火) 5・8年生児童生徒意識調査 委員会・サポート活動
- 9日(木) 9年生第2回進路説明会
- 10日(金) 本読堂 SC来校
- 11日(土) 福山地区総体
- 12日(日) 福山地区総体(予備日)
- 13日(月) 明郷タイム 前期プール開き
- 14日(火) 期末試験発表
- 15日(水) 歯科検診 3年生食に関する学習
- 16日(木) 授業研究⑤
- 17日(金) SC来校
- 18日(土) 福山地区総体(水泳)
- 20日(月) CS地域活動部会(町内会長と児童生徒代表) 15:50～
- 22日(水) 挨拶運動 後期プール開き
- 23日(木) 9年授業研究⑥
- 24日(金) 本読堂 SC来校
- 28日(火) 期末試験Ⅰ(後期課程:4教科、5・6年生3教科)
- 29日(水) 期末試験Ⅱ(後期課程:5教科、5・6年生2教科)



## 体育祭 おもてなしの第6回学園体育祭

5月14日(土)、3年ぶりの体育祭が行われました。この週は、毎日天気とにらめっこでした。

11日(水)のリハーサルは雨雲の合間に行き、前日の準備は雨で見送り、当日の朝、雨の残る中の準備となりました。朝早くから、PTA役員の皆様のお力を借りながら、児童生徒、教職員が力を合わせて準備をしました。次第に晴れ間が見え、太陽がきらきらと暑いくらいになりました。「精励恪勤(せいれいかっさん)～今までにない思い出を～」のテーマ通り、児童生徒、教職員、PTA役員、観客、一人一人が、自分の立場での役割を果たし、一体感のある、盛大な体育祭を行うことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人数制限や入れ替わり等にご協力いただき、ありがとうございました。見に来ていただくことができなかった皆様には、申し訳なく思います。ご支援ご協力してくださった皆様、応援してくださった皆様、ご心配してくださった皆様、感謝いたします。



児童生徒は、「観客を楽しませよう」「感動させよう」と練習から励んできました。おもてなしの心や表現力が育ってきています。保護者・地域・企業の皆様のおかげです。

## 役に立ちたい～ユニセフ募金

本校は、キャリア教育に力を入れています。それは、変化する社会の中で、子どもたちが、変化を恐れず、変化に対応し、希望をもって、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていく力と態度を育てるためです。日常の教育活動を通して、体験的に学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を子どもたちに体得させています。

昨年度、「ワーキングプログラム」として、現6年生は、地域の方の力を借りながら野菜を育て、売る体験をしました。思うように野菜が育たなかったり、売れなかったりと成功ばかりではなく、失敗体験を通して、働く意義を知ることができました。

きゅうりグループは、売り上げで世界の困っている子どもたちを助けたいと考えました。様々な方々との関わりの中で、思いやりも育てているのだと感じています。



## 中国新聞 ヤングスポット

- 6年 野田 沙希
- 5年 清家 碧結
- 5年 浦上 愛里



## 第88回 会長杯 ソフトテニス大会

- 【女子の部 優勝】  
9年澤田采美・8年長友愛果ペア
- 【女子の部 準優勝】  
9年長本唯楓・数本優月ペア

